精巣水瘤（陰嚢水腫）
Hydrocele

● 精巣水瘤（陰嚢水腫）とはどのような病気ですか？

精巣水瘤とは精巣の周囲に液体がたまって陰嚢（たまのふくろ）がふくらんだ状態を言います。生まれたばかりの男の子では比較的高頻度に認めます。

● なぜ精巣のまわりに液体がたまるのですか？

男児では精巣（睾丸）は胎児期におなかの中（腹腔）から陰嚢まで下降してきます（精巣はもともと卵巣と同じ場所にあります）。この際におなかの臓器を包んでいる腹膜と呼ばれるうすい膜を陰嚢まで引きずっておりてきます。つまり陰嚢の中にはおなかの中から薄い膜が突起状にはいりこんでいて精巣周囲にくっついています。生まれる頃にこの突起の付け根が閉じておなかの中と交通がなくなりますが、完全に閉じないでつながっているお子さんも多数います。この腹膜の突起（腹膜鞘状突起）のつけ根は鼠径部（ソケイ部）といっておちんちんのすぐわき、足のつけ根の上に位置します。突起の部分が広い場合は腸が突起の中に落ち込んできて陰嚢がふくらみます。これが子どもによく見られるソケイヘルニア（脱腸）です（図１）。突起の付け根が狭くても、突起とおなかの間に交通があるとおなかの中にある水分が陰嚢に降りてきてたまります。これがこどもの精巣水瘤です（図２）。つまりこどものソケイヘルニアと陰嚢水腫は形の上では同じものです。

● 診断はどのように行いますか？

子どもの陰嚢水腫は部屋を暗くして陰嚢に懐中電灯を押し当てると中身が液体ですから陰嚢全体が赤く透けて見えます。同じように陰嚢がはれている場合でも、ソケイヘルニアでは中に腸や脂肪が入っていて透けません。極めてまれですが乳幼児の精巣腫瘍もあります。比較的急速に陰嚢が腫大して、触って硬いと感じるようなときは早めに泌尿器科医にご相談ください。精巣水瘤では痛がることはありません。精巣水瘤といわれていたのに、痛がるときにはヘルニアや、細菌感染（精巣上体炎）、精索捻転なども考えられますので病院にご連絡ください。より精密に診断するときにはエコー検査も行います。

● 精巣水瘤では治療が必要ですか？

新生児や乳児の陰嚢水腫はそのまま様子をみて問題ありません。おなか（腹腔）とつながっていますから時々大きくなったり小さくなったりしますが、多くは成長とともに腹膜鞘状突起のつけ根が閉じて腹腔内との交通がなくなり消失します。ただし腸が降りてくるソケイヘルニアに気がついた場合は早期の手術をおすすめします。なぜなら落ち込んだ腸がおなかに戻らないと痛いだけでなく腸閉塞をきたすためです。精巣水瘤自体が精巣の成長を障害することはありません。１歳までに約６割の精巣水瘤は自然になおるという報告があり、多くのお子さんではすぐに手術をせずに経過を見ることができます。しかし２、３歳を越えて消失しない場合や大きくなったり小さくなったりを繰り返している場合は手術をおすすめしています。これはその時期からトイレットトレーニングがはじまり男児も生殖器を意識し始めるからです。また腹腔内と交通しているため頻度は低いのですがソケイヘルニアを起こす可能性も否定できません。

● どのように治療しますか？

子どもの精巣水瘤を見て「水がたまっているから抜きましょう」といって外来で注射針を刺して中身の液体を抜くお医者さんがいます。これは二つの点で行うべきではないと考えます。一つは前述したように精巣水瘤はおなかと交通しているためにおこるわけですから陰嚢の中の液体を抜いても2〜3日もしないうちにおなかから水分が降りてきて元通りになります。もうひとつはこのような外来処置は子どもに強い恐怖を与えます。精巣水瘤で治療が必要と考えたら手術をおすすめします。

● 手術はどのように行いますか？

子どもの精巣水瘤の手術はソケイヘルニアの手術と基本的に同じです。小さな手術ですが安全のために必ず全身麻酔でおこないます。手術はソケイ部に約2cmの横切開を加えて腹膜の突起部分（腹膜鞘状突起・ヘルニア嚢とも言います）のつけ根を確認し、そこを切り離して糸でしばるだけです（図３）。腹膜の突起全体をとるようなことはしません。通常30分以内で終了します。出血や感染はきわめてまれです。再発は報告がありますが、その場合いわゆる腹腔との交通とは異なる原因で生じていた（感染など）可能性が考えられます。

● 入院期間はどれぐらいかかりますか？

当科では手術当日朝に入院してその日の夜に帰る日帰り手術、もしくは翌日に帰る１泊２日の入院を原則としてます。ただし喘息など他に問題を抱えているお子さんは前日から入院していただくので2泊3日になります。

● 退院後に自宅で注意することはありますか？

退院してから2日間ぐらいは痛がることがあります。痛み止めの座薬を使用してください。手術をしたのに翌日に陰嚢内に水が溜まって陰嚢が腫れることもあります。反応性の水分ですからしばらく経過を見て問題ありません。傷はフィルムでカバーされていますから消毒は不要です。退院翌日からシャワーを許可しています。お風呂は術後３日目から入ってもらって結構です。フィルムがはがれても基本的にそのままで結構です。術後のだっこや歩行の

制限はありません。しかし陰嚢を圧迫するような遊び（三輪車に乗る、ものにまたがる）、プール、体操などは手術後２週間はやめてください。

● 手術後の通院はどうするのですか？

通常退院後１週間目に外来に来てもらい傷の具合を見ます。それまでフィルムがついていたらそこではがします。保育園に行くのは出来ればそのあとにしてください。問題がなければ術後の来院はこの一回だけで終了です。

図2（陰嚢水腫）